

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	未来へ繋ぐ これが『“ふるさと”座光寺』保存事業
事業主体 (連絡先)	座光寺地域自治会 0265-22-1401
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,056,177 円

#### 事業内容

- ①～伝えよう ふるさとの画～活動：暮らす人の営み、自慢したい風景などの“ふるさと”の画を地域全住民に協力を依頼し収集した。また、リニア整備等により変わりつつある現在の街並みや、リニア沿線などの地上からではわかりにくい箇所を、ドローンを使用し撮影した。
- ②ふるさと写真コンテストの開催：平成31年2月2日、3日に行われた座光寺地域文化祭で「写真コンテスト」を開催した。
- ③資料データベース作成：事業①でドローン撮影した映像を編集、また事業②で収集した写真をデータ化し保存。
- ④「ふるさとを考える会」の開催（座光寺探訪）：2月24日に「座光寺探訪」を行った。また、編集した映像を文化祭で上映した。



【優勝作品『春祭りの獅子』】

#### 【目標・ねらい】

#### 事業効果

##### 事業①

- ・変わりゆくふるさとの風景を様々な高度や角度による視点から撮影し収集することができた。
- ・データとして保存する事で劣化せずに長期間に渡り保存しておく事が期待できる。
- ・写真の提供を地域住民に呼びかけることで、地域に対する愛着を高める事ができた。

##### 事業②

- ・文化祭などで上映することで地域の魅力を地区内外へ発信し地域の認知度アップの一翼を担う契機となった。
- ・将来的に映像作品化して、教育機関での地域教育に使用する足がけとした。

##### 事業③

- ・映像を見せたり、実際に訪れることで地域を深く知り、価値を知ることによって地域に対する愛着や誇りを再認識する事ができた。

- ①住民参画により地域の自然・歴史・文化の画を未来へ残すことができるよう収集し、保存する。
- ②収集した画を編集し、イベントでの地域PRや地域教育の教材としての利活用を図る。
- ③他団体と連携し、地域を知り学ぶ機会の創造を図る。

#### ※自己評価【 B 】

【理由】 数か年計画のうちの、収集に重きを置いた事業を展開した。地域住民からも40件あまりの提供があったほか、現在の街並みをドローンを使用し撮影することができた。今回収集したものを、今後の地域活動、地域教育に生かしていきたい。

#### 今後の取り組み

○今回回収したものや、コンテスト等で選ばれた素材を地域PRに利用していくことで、都市部を含む地域外からの地域の印象や、理解をこれまで以上に高めることが期待でき、当地域を訪れる人が増加し、地域の活力になるとともに、将来的な移住の契機になることが期待できる。

○保存・収集の対象を年齢を問わず誰が見てもイメージしやすい写真や映像にしたことで、教育機関で地域学習の教材として利活用し、地域の未来を担う子ども達が地域に愛着や誇りを持った人材となるよう取り組みを進めていく。